

令和5年 第10回総務文教常任委員会所管事務調査報告書

令和5年10月29日

別海町議会議長 西 原 浩 様

総務文教常任委員長 佐 藤 初 雄

総務文教常任委員会の所管事務の調査を実施したので、別海町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

《第10回》

1 日時

令和5年10月29日（日） 午後1時30分から

2 開催場所

オンライン会議（ラインワークス）

3 出席委員

佐藤委員長、田村副委員長、戸田委員、吉田委員、市川委員

4 欠席委員

なし

5 委員外

なし

6 調査事項

（1）総合的な防災対策について（尾岱沼地区防災訓練視察）

7 説明員の職と氏名

伊藤総務部長、寺尾総務部次長、岩口防災・基地対策課長 ほか

8 調査結果

【総務部所管事務調査】

（１）総合的な防災対策について（尾岱沼地区防災訓練視察）

- ・訓練のシナリオ自体は良い。
- ・AED 及び心肺蘇生法講習には、説明だけでなく簡単なマニュアルがあれば、よりわかりやすかった。
- ・炊き出しは、ボリューム満点
- ・避難所の運営は自主防災組織になるが、実際の組織も訓練に参加した方がいいと思う。
- ・二次災害火災を想定した移動訓練は非常に有効だと感じた。
- ・被災地支援を経験している防災監を役場内に配置している事は、現場を経験している人が避難訓練の計画を立てている事は実効性が高く、信用・信頼があると思う。
- ・公民館の中に防災サイレンの音が聞こえなかったのもので、各地区のサイレンが施設の中にも聞こえるのか、町内どの範囲に聞こえるのか調査が必要。
- ・地区、町内での避難訓練も大事だが、各家庭での災害時対処の仕方を毎年周知や勉強会など自助強化が必要と感じた。
- ・公民館内に防災無線が聞こえないのは問題ないのか
- ・もう少し受付の導線を考えた方がいいかもしれない（セキュリティ要素を受付が担っているということであれば）
- ・被災時、すべての地域住民が避難するとは限らないが、それにしても、避難場所としてのスペースの確保はかなり不足していると感じた。
- ・全体的に訓練としての内容はとてもわかりやすく考えられている印象でした。
- ・炊き出しは、本当に美味しく、どなたにも受け入れられやすいと思うし、一味などの配慮も嬉しい。ティッシュの配置があれば、子育て世代や高齢の方には助かるかもしれない。
- ・このような訓練の機会に参加された住民の方を中心に、実際の被災時に避難所が円滑運営されていくのではないかとイメージできる内容でした。
- ・私自身、とても勉強になりました。
- ・今年度の訓練実施実績や対策など、継続して調査をする。

以上